

代数的表現論と構成可能層

G. ウィリアムソン

Abstract

簡約代数群の単純加群について知られていることをサーベイする。特に標数 p が正のとき、ルスティックによる指標公式について重きをおく。カジュダン・ルスティック予想の精神に基づく、表現と構成可能層を結びつけるアイデア（フィンケルバーグとマーコビッツの予想）を説明する。また、計算をより可能にする（一般線形群については証明されている）リーチとともに与えた予想についても議論する。